

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年1月28日

【評価実施概要】

事業所番号	2792200046		
法人名	特定非営利活動法人ばだ		
事業所名	ぶも		
所在地	大阪市生野区鶴橋2丁目15番地27号 (電話)06-6715-0133		
評価機関名	特定非営利活動法人エイジコンサーン・ジャパン		
所在地	大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルITM棟9階		
訪問調査日	平成21年12月11日	評価確定日	平成22年5月31日

【情報提供票より】(平成21年10月14日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成19年9月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤8人, 非常勤	5人, 常勤換算7.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	4階建ての	2,3階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(294,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 入所日 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(10月14日現在)

利用者人数	18	男性	2名	16	名	
要介護1	0	名	要介護2	7	名	
要介護3	8	名	要介護4	2	名	
要介護5	1	名	要支援2	0	名	
年齢	平均	84歳	最低	66歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	もなと生協診療所	西淀病院	とみもと歯科
---------	----------	------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

JR鶴橋駅下車徒歩10分、商店街を通り向けたところにNPO法人ばだのグループホーム「ぶも」がある。元は在日外国人支援団体であったが、NPO法人を設立して、デイサービス、グループホーム、小規模多機能ホームへと発展して行ったホームである。約90%の入居者が在日韓国人の方である。入居者が自らの民族の文化を思い起こして生活してもらえるように、食事、音楽などにごくくを尽くしたホームにしたいと、管理者は考えている。もともと支援団体であったということで、保証金・家賃は収入の少ない方でも入居できる金額を設定している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	今回が初めての外部評価を受審した。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回は初めての受審ということもあり、自己評価作成は、管理者が一人で作成した。自己評価を作成するということは、外部評価を受けるためだけでなく、高齢者の最終章ともいえる住まいでの生活をどのように支援し、より生きがいある、尊厳ある生活とするために資するもの、として捉えていただき、介護職員、看護師も作成に参加されたい。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は開かれているが、行政の参加はない。包括支援センターからは毎回出席を得ている。地域からの参加は得られていない、参加を得るために、地域で専門を生かした講習会などを開催して、関係づくりから始めるなど、理解を得ていくために更なる工夫、努力を図られることを期待する。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の意見は運営推進会議、電話などで聞いてその都度対応しているとのことである。家族の中には、自分ができないため職員にお願いしているということで、思っていることを全て伝えられていない家族もあるかと考える。どの家族でも職員と話し合える関係作りを更に構築されたい。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域は商売をされている方が多く、まだまだ高齢者の介護施設全体に対する理解が浸透できてない。運営推進会議にも参加してもらえていない。婦人会の方の経営する喫茶店に入居者全員でお茶会に毎月出かけている、そのことをきっかけにし、ホームでの認知症講習会を開くことで、婦人会の方々との交流につながることも考えられないか、など検討を期待する。

グループホームぷも

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取り組みを期待したい)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	認知症のある在日コリアン高齢者が安心して生活できる共同の生活の場としてのホームを目指している。懐かしいふるさとの食文化や音楽を取り入れた支援している。		玄関に理念の掲示はない。「漢詩」の額がかかっている。ホームが一番大切に考えていること、職員が、施設長が、管理者がどんなホームを目指しているかを一緒に考えて、理念として掲げていただきたい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は定例の会議や研修で、また、日々のケアをする中で理念を理解し、実践していくことを目指している。		管理者は、在日の方が自国での昔の生活を懐かしく思いながら、その文化に触れて生活を送ってもらいたいと、心がけている。そのことを表す言葉、短い文を職員で考えて欲しい。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近所のお店の経営者の自宅は離れた場所住んでいる方も多い。近所付き合いは出来ていないが、商店街を入居者と利用することにより近所の方とは挨拶などはしている。		地域との関連は組織的にはないが、これからは自治会の行事などに参加したり、ホームを認知症勉強会の場に提供するなど交流に結び付けられたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回が初めての外部評価であり、管理者も作成することに精一杯で職員に参加してもらえていないが、内容については普段の職員の意見など取り入れた。		今回の受審が有意義に働き、ホームの改善が進み、更なる発展につながることを期待する。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取り組みを期待したい)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	2ヶ月毎に運営推進会議を開催し、事業内容や実態などの説明を行い、地域からの要望や意見などについて話している。		運営推進会議は2ヶ月ごとに小規模多機能ホームと合同で開いている。これからは参加者の氏名を記録に残されたい。
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	運営者は市町村担当者と話し合いの機会をつくり、事業所の現状や実態について相談をしている。		運営推進会議に市職員の参加が無いが、市担当者に相談に行くことでホーム内で解決できないことも解決できていることもあった。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	家族の面会時に報告をしたり、随時電話で行ったりしている。		家族の訪問時の報告、電話などで連絡したことはノートに記録するようにされたい。
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	家族からの相談や不満・苦情などがあれば、話し合いの場を設け、関係者で問題解決をするよう努めている。		数家族は思いをしっかりと職員に伝えられているのでは、と思えるアンケートの中身であった。どの家族からも、何でも話してもらえる関係づくりをこれからも続けて欲しい。玄関に行政の苦情受付電話番号を明示されたい
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	各職員が常に入居者全員とコミュニケーションをとって、入居者が特定の職員だけにこだわりを持つことなく接することが出来るようにしている。		2階3階の職員を固定することなく配置し、職員の異動があっても、動揺に結びつかない工夫をしている。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取り組みを期待したい)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	シフトを調整し研修に参加できるよう努めている。法人内での研修や勉強会は可能な限りシフト上で予定を組み受講できる支援をしている。職員ミーティングなどは勤務扱いで交通費も支払っている。夜間待機手当てもある。		研修に参加していない職員に対し内容を共有することは必須である。しかし中々見ていない職員もいる現実とのことである。周知を徹底する方法考えられたい。外部研修も年間計画に組み込まれたい。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣の同業者と相互の訪問し、見学や相談などを行い交流を図っている。		他の事業所との交流は視野を広げることになる、管理者だけでなく、時には介護職員までも交流会に参加されるように支援されたい。
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族から聞いた、入居者の生活歴や、趣味、趣向を記録し、入居開始に対応している。		入居開始にあたっては小規模多機能ホームでの準備期間を取り入れるなど、動揺を誘発することのない工夫がされている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理や洗濯掃除など、出来ることはなるべくしてもらい、助け合いしながら、日常を過ごすようにしている。		生活の中に役目があることは、持てる力を持続するためには大切である。なんでも支援することなく、見守ることもまた支援につながっている。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取り組みを期待したい)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1．一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時の記録だけでなく、日常の中で入居者を見つめ、意向の把握に努めている。</p>		<p>しっかり見守りをする事で、入居者の思いや意向がだんだん見えてくると考える。更なる職員の研鑽を期待する。</p>
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族の要望を参考に、職員全体で検討し、状況を観察しながら介護計画の作成をしている。</p>		<p>通常は半年に1回の見直しをするが、見直しに当たりその前の計画の達成度なども検討材料にされたい。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入居者に変化が生じた時は、状況の確認を職員全体で行い、計画の見直しは必要であると考えている。</p>		<p>必要に応じて途中見直しをする。入院した後は、低下していることもあり必ず見直すことにしている。</p>
3．多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>できるだけ要望に応じることが出来るように支援している。</p>		<p>1階の小規模多機能ホームとの交流なども含め日常生活が変化のある毎日になるように支援をお願いしたい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取 組み を期待 したい)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族の意向を尊重し、かかりつけ医との関係を続けていくようにしている、認知症専門医が商店街にあるので、受診には職員が付き添うこともある。</p>		<p>かかりつけ医受診は家族が付き添うが、提携医は職員がついていくこともある、歯科医は商店街の中の医師で受診もし易い。</p>
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合の指針について、本人や家族に説明を行っている。</p>		<p>グループホームであっても「終の住処」となっている入居者が多い。看取りの指針を作成し、終末期の対応について家族と共有されることが望まれる。</p>
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者を尊重した言葉かけや対応をしています。また個人情報を適切に取り扱っている。</p>		<p>入居者の思いを汲み取り、安心のある生活をしてもらえるように考えている。個人情報にも配慮した扱いがされている。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>予定とおりにめ込まうとせず、なるべく入居者の状況に応じて個別対応を心がけている。</p>		<p>日常の中では時には入居者の思いに添えないときもあるかと思うが、職員は個別対応を目指している様子が窺えた。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取り組みを期待したい)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者一人ひとりの状態にあわせ、職員と一緒に準備や片付けを行っています。		出来ることは手伝ってもらっている。韓国の常備食のキムチ少ないという家族の声もあった。個人差も有ると思われるが要望に添った対応を期待する。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的な入浴曜日や時間帯は決めているが、本人の希望があれば自由に入浴できるようにしている。入浴剤やゆず風呂、薬草風呂で楽しめる日を作っている。		ほぼ希望に添った対応がされている更に続けて欲しい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者同士で助け合いができるように働きかけ、家事や畑しごとなど、負担にならないように役割を持ってもらっている。		自分に任された仕事があることが何よりの張り合いになる、持てる力を出して、いきいきした日々となるような支援を続けていただきたい。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	おやつを買いにでかけたり、公園へ散歩にでかけ気分転換が図れるようにしています。		近所に商店街もあり、揃って喫茶店に時々行っている。外出することは気分転換と、身体を動かすことで、全身の機能の鍛錬になる、これからも気軽な外出を続けて行っていただきたい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、早朝・夜間以外は鍵は掛けていない。		鍵を掛けないことで、特に困ったこともない。商店街に出かけて連れてきてもらうこともあったとのことであるが、見守りつつも近所にも支えられているホームであるとの印象もある。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取 組み を期待 したい)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非難訓練や勉強会などで対応方法を職員に周知している。地域の協力を得るところまでしていない。		商店街の一角ということもあり、災害時は、地域の助けが要ると思われる、何とか近所の協力を得られるように努力をされたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量のチェックシートを利用、栄養状態の把握はしている。またそれぞれの身体機能の状況にあわせたの支援をしている。		自分で食べられる入居者にはできるだけ自分でという方針と、介助が必要な方には声を掛けながら和やかな食事時間であった。これからも楽しく食事をとる時間を続けていただきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節にあわせた物や花、または絵などを飾り、居心地よく過ごせるように工夫している。		日々の生活の中で色々忙しいこともあるかと考えるが、部屋の掃除に関して複数の意見があった、生活空間としての部屋の掃除に対し更なる努力を期待する。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたもの、好みにあわせた物を持ち込んでいる。季節毎にあわせた衣服などの入れ替えを職員や家族と協力し行っている。		たんずの整理、居室を清潔に整えることをやって欲しいとの声もあった。職員同士話し合い、どんな方法がいいのか、日常の仕事の中に組み込んでやって見られてはいいかかと考える。

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。